

令和6年度 学校評価のまとめと考察

伊那市立伊那北小学校

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。集計および考察をいたしましたのでご報告いたします。今後の学校運営や学校生活づくりに生かして参りたいと思います。

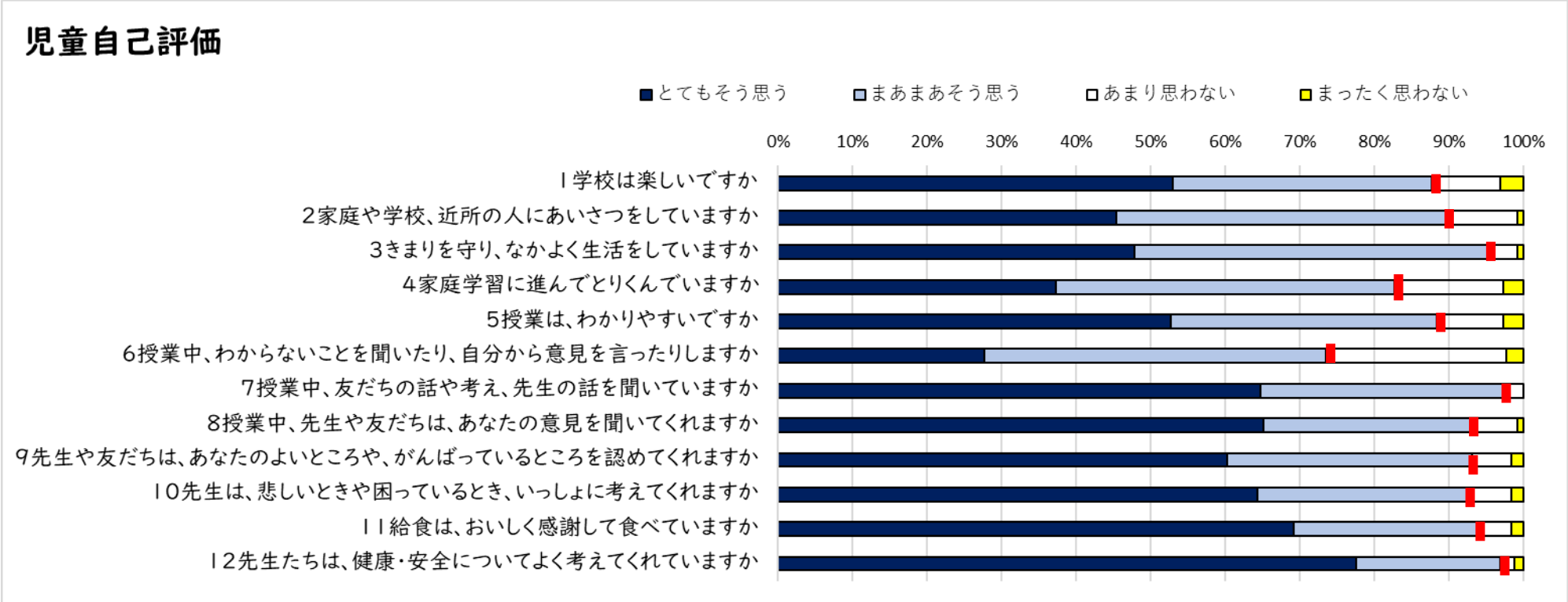
【回答率 児童87% 保護者52%】

1、グランドデザインに関わって

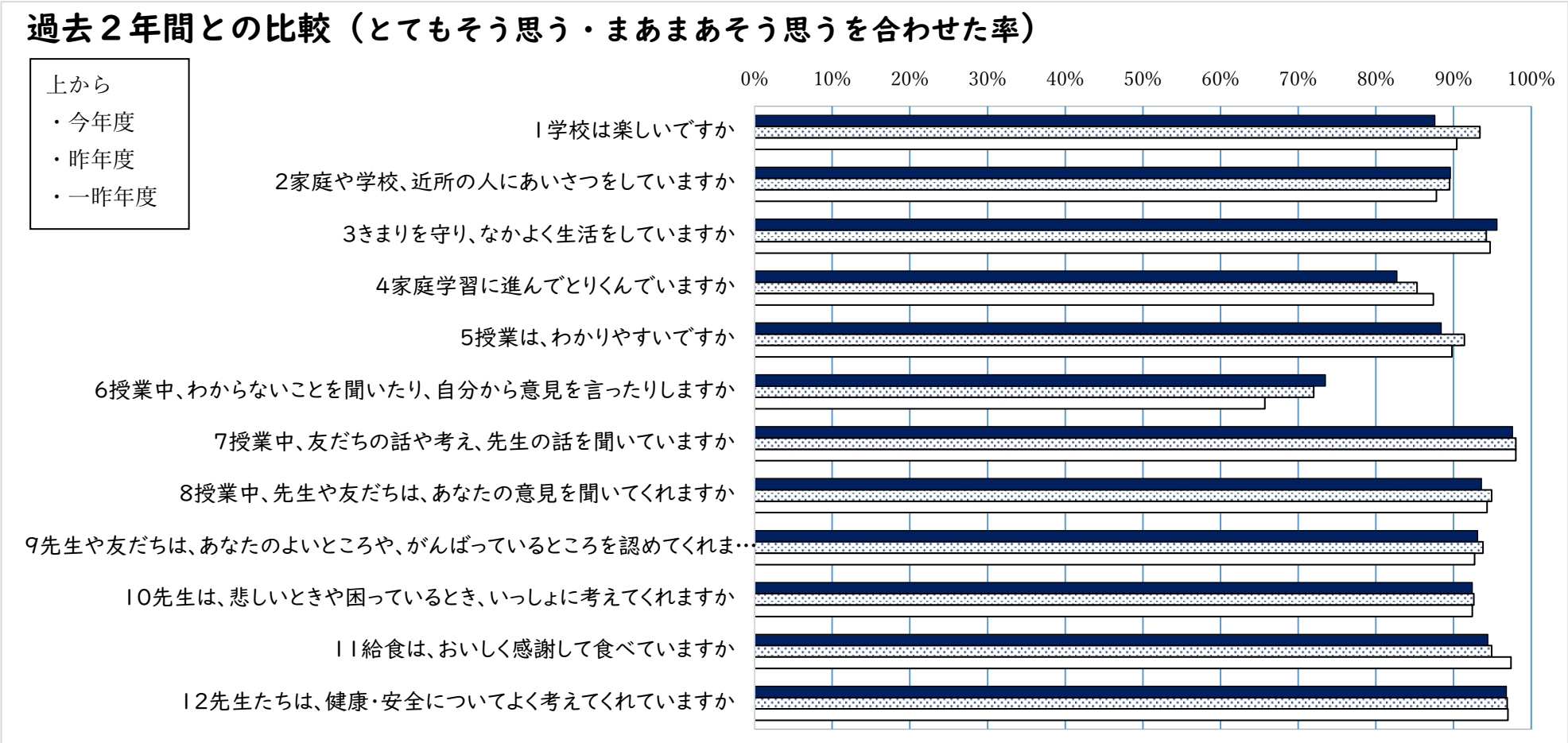
かしこく		なかよく		たくましく	
保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童
学校は、学習の定着と友との学び合いを通して育つ、【かしこい】子どもをめざしている。	自分で発見したり、友だちと学び合ったりしながら勉強して、【かしこく】なる努力をしています。	学校は、ちがいを認め合える学級作りや異年齢交流などを通して育つ、【なかよし】の子どもをめざしている。	お互いの、ちがいや、よさをもとめて、友だちと【なかよく】するようにしています。	学校は、地域学習の充実、健康的な生活習慣、体力向上を通して育つ、【たくましい】子どもをめざしている。	里山や地域での活動、健康な体づくり、運動などを通して、心も体も【たくましく】元気になるように努力をしています。

2、児童の学校自己評価の結果

それぞれの回答数の比率を左から順に示しました。

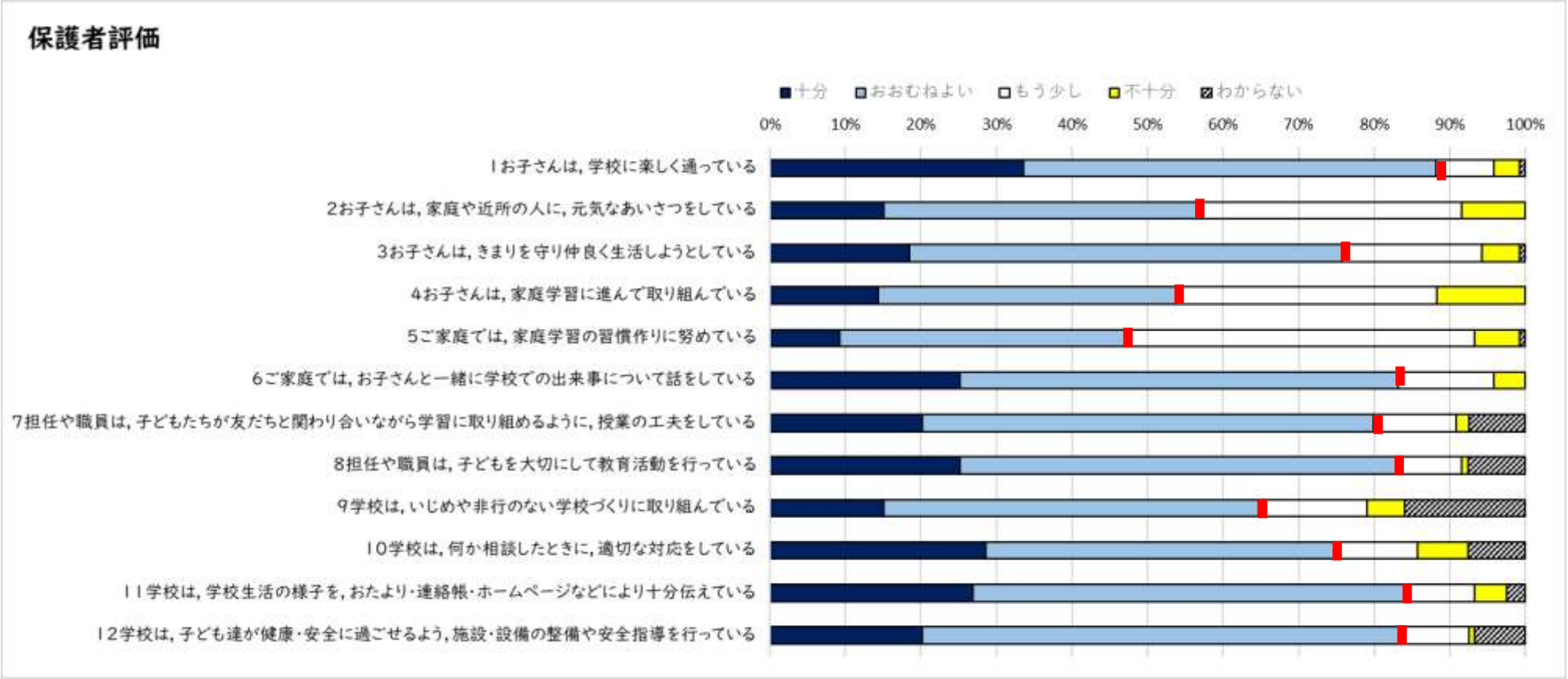


3、児童の過去2年間の「とてもそう思う・まあまあそう思う」を合わせた率の比較

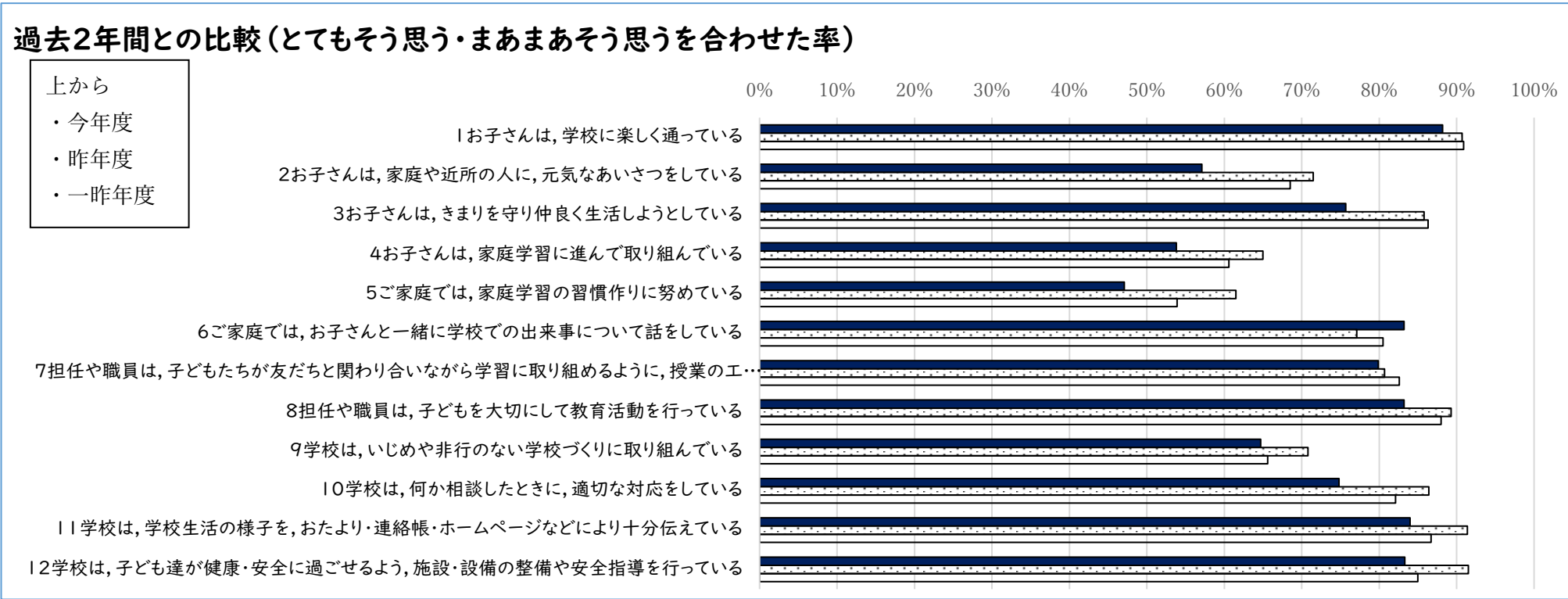


4，保護者の皆様の学校評価の結果

それぞれの回答数の比率を左から順に示しました。



5，保護者の過去2年間の「とてもそう思う・まあまあそう思う」を合わせた率の比較



児童アンケートの考察

・昨年度よりも「とてもそう思う・まあまあそう思う」の率（赤い印で示した数値）が下がっているところもありますが、「学校は楽しい」と感じている児童が9割近くいることをうれしく感じます。児童の記述の中には、「友達との関わりが楽しい」という声が多く聞かれました。また、今年度は児童集会を月1回開催し、そこで登場する伊那北レンジャーの活躍をととても楽しみにしていることを記述欄に書いている児童も多くいました。児童会役員を中心に子どもたちがつくりあげる活躍の場が、全校の楽しみになっていることを受け、今後も子どもたちが「自分たちで考え」「だれかのために」取り組む場面を大切にしていきたいと思います。

・授業についても、9割近くの児童が「わかりやすい」と答えています。今年度、職員全体で【めあて・ふりかえり】を大切にして授業を進めることを心がけてきました。子どもたちが「分かった。できた。」そして、「次はこうしてみたい。」というふり返りを次の授業へとつなげていく本年度の歩みを、今後も続けていきたいと思います。

・児童の記述欄には「優しい言葉や関わりをふやしたい」「廊下歩行などのルールを守りたい」など、自分たちでもっと学校をよくしていきたい、という意見も見られました。子どもたちの声をもとに、それが実現できるよう職員一同サポートしていきたいです。

保護者アンケートの考察

・昨年度よりも「とてもそう思う・まあまあそう思う」の率（赤い印で示した数値）が下がっているところもありますが、多くの保護者の皆さまに「学校は楽しい」ととらえていただいていることに感謝申し上げます。

・「2 あいさつ」の項目は、児童の自己評価に比べると保護者の方の評価は低い結果となっています。今年度は、地域の人との関わりながら活動することに努めてきました。人との関わりの基本となるあいさつについて、より力を入れていく必要があると感じています。まずは校内で、子ども同士、職員とのあいさつを広めていけるように、全職員が学年関係なく声をかけたり、あいさつしたりすることを続けていきます。お家の方も、登下校で子どもたちと会ったら、ぜひあいさつをしていただき、明るいあいさつがひびき合う伊那北小学校を目指していけたらと思います。

・今年度より、オクレンジャーを導入しました。学校からの配布物もオクレンジャーを利用することで便利になった、という声もいただきました。そのよさをお返し、写真等を入れながら学校の様子をよりお伝えできるようにしていきたいと思っています。

・記述欄には、伊那北小学校のよさとして、里山活動や自然の豊かさ、を挙げていただきました。今年度の重点として「体験活動の充実」を意識して取り組んできました。今後もそれを大切にして、伊那北小学校で生活するよさを子どもたちが実感できるようにしていきたいと思います。